

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術（平日入院用）患者さんパスシート（No.1）

氏名		診療科名	消化器・肝臓内科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院日
達成目標	- 入院生活、手術について理解しましょう。 - 手術について不明な点は医師、看護師に相談しましょう。 - 転倒予防について理解しましょう。
薬 	- 薬を内服されている方は、お薬手帳と一緒に 1 週間分程度お持ち下さい。入院中も内服するかどうか、主治医・薬剤師が確認し継続するか判断します。 18 時頃から 1 リットルの腸洗浄用の水薬を飲んで頂きます。 ※薬の具体的な飲み方については、最後の用紙の「腸洗浄用の水薬（モビプレップ）の飲み方」で説明致します。 - 以下の症状があらわれた場合は、我慢せず直ちに看護師にお知らせ下さい。 気分が悪い、吐き気、腹痛、顔が青ざめる、めまい、息苦しい、寒気など - 寝る前にも下剤を飲んで頂きます。
検査	- 特に検査はありません。 - 外来で実施されていない検査を行う場合があります。 
処置	
排泄	特に制限はありません。
活動	特に制限はありません。
食事	- 昼食は翌日の手術のための検査食をご用意致します。 - 夕食から食べられませんが、のどが渴いた際は、随時お水を飲んでください。
清潔	特に制限はありません。
説明指導	- 医師から手術や入院中の予定について説明があります。 - 看護師から入院生活、手術前後の処置や経過、転倒予防についての説明があります。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。
日本医科大学付属病院 2025 年 4 月作成

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(平日入院用)患者さんパスシート (No.2)

氏名		診療科名	消化器・肝臓内科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	／				
経過	2日目（手術前）				
達成目標	・手術前に必要な処置を受けましょう。				
薬	・以下の時間より、お薬と下剤を飲んで頂きます。 1）6時：吐気止めの薬 2）7時：前日に飲んだ残りの腸洗浄用の水薬を飲みます。 ※薬の具体的な飲み方については 「腸洗浄用の水薬（モビプレップ）の飲み方」の用紙で説明致します。 ・以下の症状があらわれた場合には、我慢せず直ちに看護師にお知らせ下さい。 気分が悪い、吐き気、腹痛、顔が青ざめる、めまい、息苦しい、寒気など ・手術前から飲んでいるお薬は飲んでいいか確認しお伝えします。 飲んで頂く場合には、朝6時に飲んで頂きます。 				
検査	・特にありません。				
処置	・朝8時から点滴を始めます。看護師が点滴のための針を入れます。 ・手術前に、静脈血栓予防のため、弾性ストッキングを着用します。				
排泄	・お通じの状態を確認させて頂きますので、排便後は流さずにナースコールでお知らせください。 お通じが透明の水様の状態になれば、手術可能となります。 ・モビプレップによる腸洗浄が不十分な場合は、浣腸を行うこともあります。				
活動	・特に制限はありません。				
食事	・朝から1日中、食事は召し上げられません。 お水は、飲んで頂いて構いません。 				
清潔	・タオルで体を拭く場合には、看護師がお手伝いします。				
説明指導	・ガードルやコルセット、腹巻など、お腹を締め付ける衣類は着用しないようにしましょう。検査室に呼ばれたら貴重品（指輪・時計・義歯・ネックレス・など）は外して下さい。電気を流して行う治療なので、金属類と湿布は必ず外して下さい。鍵付き金庫の場合は、鍵をご家族の方または看護師へ預けて下さい。				

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。
日本医科大学付属病院 2025 年 4 月作成

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(平日入院用)患者さんパスシート (No.3)

氏名		診療科名	消化器・肝臓内科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	／				
経過	2日目（手術後）				
達成目標	・腹痛や排泄時に出血があった場合には、看護師に知らせましょう。 ・転倒に注意し行動しましょう。				
薬	・昼分の薬・夕分の薬・寝る前の薬は、飲んで頂いて構いません。				
検査	・病室に戻ってきたら、血圧、体温、脈拍などを観察します。 				
処置	・点滴は翌日まで続きます。				
排泄	・手術後は翌朝まで、トイレ歩行のみ許可となります。 ・トイレ以外はベッドで安静にしてください。				
活動	・手術後、初めて歩くときには看護師を呼んで下さい。 ・ふらつきがある場合などには車椅子での移動をお手伝いします。 ・起き上がる際や排便時は腹圧をかけないように注意して下さい。				
食事	・食事は召し上がれません。 ・水分を摂っていい時間は、看護師からお伝えします。 				
清潔	・タオルで体を拭く場合には、看護師がお手伝いします。 ・シャワー浴は出来ません。				
説明指導	・手術の後は麻酔の影響でふらつく場合があります。 ・熱、強いお腹の痛みや便の異常（赤い・赤黒いなど）、気分が悪いなどの症状を感じた場合には看護師にお知らせ下さい。 				

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(平日入院用)患者さんパスシート (No.4)

氏名		診療科名	消化器・肝臓内科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/				
経過	3日目				
達成目標	・腹痛や排泄時に出血があった場合には、看護師に知らせましょう。 ・転倒に注意し行動しましょう。				
薬	・血液をさらさらにする薬を飲んでいた場合には、再開の時期をお伝えします。				
検査	・採血・レントゲンの検査があります。 ・血圧、体温、脈拍などを観察します。 				
処置	・食事を十分に摂れている場合は、点滴が終了となり針も抜きます。				
排泄	・トイレ歩行のみ許可となります。 ・医師の許可があるまで、トイレ以外はベッドで安静にしてください。				
活動	・歩くときには看護師を呼んで下さい。 ・ふらつきがある場合などには車椅子での移動をお手伝いします。 ・歩行は、採血・レントゲンの検査結果をみて、医師の許可がでます。				
食事	・医師の許可がでるまで、食事は召し上げられません。 ・採血・レントゲンの検査結果をみて夕食から五分がゆをご用意します。 				
清潔	・タオルで体を拭く場合には、看護師がお手伝いします。 ・シャワー浴は出来ません。				
説明指導	・熱、強いお腹の痛みや便の異常（赤い・赤黒いなど）、気分が悪いなどの症状を感じた場合には看護師にお知らせ下さい。 				

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(平日入院用)患者さんパスシート (No.5)

氏名		診療科名	消化器・肝臓内科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		
経過	4日目		
達成目標	・腹痛や排泄時に出血があった場合には、看護師に知らせましょう。 ・退院後の生活について疑問や不安があれば、医師や看護師に相談しましょう。		
薬	・飲んで頂く薬の説明をします。		
検査	・重い症状がない場合は、特に検査はありません。		
処置	・特にありません。		
排泄	・特に制限はありません。		
活動	・特に制限はありません。		
食事	・消化の良い柔らかめの食事（5分がゆ・全がゆ）をご用意します。		
清潔	・シャワー浴が出来ます。 		
説明指導	・熱、強いお腹の痛みや便の異常（赤い・赤黒いなど）、気分が悪いなどの症状を感じた場合には看護師にお知らせ下さい。  		

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(平日入院用)患者さんパスシート (No.6)

氏名		診療科名	消化器・肝臓内科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	5 日目（退院日）
達成目標	退院後の生活について疑問や不安があれば医師や看護師に相談しましょう。
薬	お預かりしていた薬がある場合はお返しします。 
検査	重い症状がない場合は、特に検査はありません。
処置	特にありません。
排泄	特に制限はありません。
活動	- ジョギングやゴルフ、重労働など腹部に負担がかかる動作は出血を起こす原因となります。退院後、約 10 日～2 週間は避けて下さい。 2 週間以内の海外旅行も避けましょう。
食事	- 約 10 日～2 週間は刺激の強い物（熱い物や冷たい物、辛い物、炭酸飲料）脂っこい物、繊維質の多い食べ物、固いもの（タケノコ、ゴボウなど）は控えて下さい。 - アルコールは血流を良くし出血を誘発する危険性があるため、約 10 日～2 週間は控えて下さい。 
清潔	退院後約 10 日～2 週間は長時間の入浴は避けてください。 
説明指導	- 強い腹痛、便に異常（赤い・赤黒いなど）がありましたら次回の外来受診を待たずに、すぐに外来に連絡して下さい。 - 治療結果の説明は後日、外来で行います。 次回外来受診日 ____月____日 - 保険などの書類は退院日に、外来中央受付 A に提出して下さい。 （ただし文書受付窓口は日曜・祝日は受付できません） 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。
日本医科大学付属病院 2025 年 4 月作成

腸洗浄用の水薬（モビブレップ®）の飲み方

◎手術前日（入院日）の夕方 18 時頃から飲み始めます。

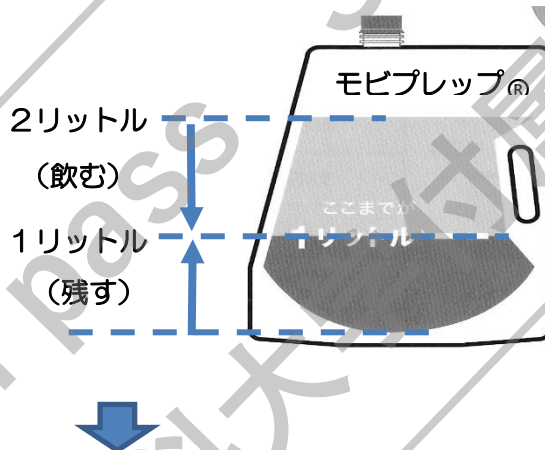
1. 脱水予防と、腸を動かすためにモビブレップ®を飲む前にコップ 2 杯程度の水分をとって下さい。
2. モビブレップ®を 1000ml 飲みます。その後、お水 500ml を飲みます。

* 看護師が用意するモビブレップ®は 2 リットルで作成されています。
一度に全部飲まないよう注意しましょう。

* 目安は、モビブレップ®、お水共にコップ 1 杯（約 200ml）を約 15 分のペースで飲みます。

* 喉が渴いた場合は、モビブレップ®服用中はお水を飲んでください。

* 温かい飲み物でも可。



◎手術当日（入院翌日）の朝 7 時頃から、以下のように飲みます。

3. 前日のモビブレップ®の残りから、モビブレップ® 200ml（コップ 1 杯程度）を飲みます。その後、お水を 100ml（コップ 1/2 杯程度）飲みます。

便が透明で水のようになるまで、これを繰り返します。

4. 便がほぼ透明で水のようにになったら、腸洗浄用の水薬の内服は終了となります。

※便の状態を確認させていただきますので、排便後は流さずにナースコールでお知らせください。

※モビブレップ®による腸洗浄が不十分な場合は、浣腸を行うこともあります。